

1. 教育の責任

経営学部「いきいきキャリア分野」および学部共通科目のキャリア教育分野を主に担当している。また、実社会で起こる問題解決に向けて学生自ら課題を検討し地域貢献を通じて社会への眼差しを育む「フィールドスタディⅡ」、思考力の強化や論理性の向上を目指す「ロジカルシンキング」などを担当する。

担当授業：キャリアデザインⅠ・Ⅱ／働くことを考えるⅠ／ロジカルシンキング／キャリア形成と社会／フィールドスタディⅡ／実践演習（キャリア）／職場コミュニケーション／キャリアモデル事例研究／ゼミナールⅠ・Ⅱ／経営学の扉（オムニバス）／名著名作から人生を考える（オムニバス）等

2. 教育の理念

- 「自己を見つめる」：授業では、社会問題に関する自分なりの考えをまとめたり、日々の活動の中に現れる自分らしさを振り返るといった「自己を見つめる」ことを重視している。
- 「共に学ぶ」：自分なりの学びや気づきを、クラスメンバーとのディスカッションやディベートで共有し、中で多様な価値観に触れる機会を大切にしている。
- 「教育は、折に触れて」：情報を伝えることにとられず、学生同士の会話や学内での出来事、日常生活で目にしたものを学びのテーマに結びつけ議論するなど、機会があるごとに大切なメッセージを伝える「生きた学問」の実践を心がけている。

3. 教育の方法

- **多様な価値観に触れる機会提供**：教育の理念である「自己を見つめる」・「共に学ぶ」を実現するため、安心して受講し対話できる環境づくりを心がけている。例えば、事前課題で自分なりの考えを共有する準備をしたり、オンラインディスカッションボードを活用して授業外に自由な議論の場を設けるなど、豊かな協働関係がもたらされる工夫を行なっている。授業の中では多様な意見、観点を尊重し、率直な疑問や不安、異なる意見を個人が特定されない形で積極的に紹介し、学生が多様な価値観に触れられる工夫を取り入れている。
- **主体的な学びを提供するための工夫**：学生自らが学びの意味を見出すことができるよう、「自ら調べ・行動し・考え・気づく」機会を提供している。授業では知識教授だけでなく、ディスカッション、グループ調査、フィールド見学、体験とその振り返りなどを通じた学びを提供している。さらに、常に自分なりの意見を持てるように、振り返り（リフレクション）の時間を十分に設けることを重視している。

4. 教育の成果

- **学生からの評価**：学生による授業評価では「自分のことを考えるきっかけになった」や「自分のことについて知れた」、また「他の人の意見を聞くことで学びになった」等、自己を見つめる機会と、共に学ぶ機会が評価された。さらに学生の一部は、多様な体験や学びの自分なりの意味を的確に振り返り、自分なりの行動指針（持論やモットー）を持つことができるといった成果が見られた。
- **地域社会からの評価**：地域貢献活動を基に経営学の学びを習得する「フィールドスタディⅡ」は、その活動内容と経営学教育への貢献から、活動場所である小学校や教育委員会からも高い評価を得た。また実習先からも学生の参加がフィールドにもたらしたポジティブな変化が高く評価された。

5. 改善への努力と今後の目標

学生が「自ら調べ・行動し・考え・気づく」機会を提供するだけでなく、学生のアウトプットや振り返り（リフレクション）へのフィードバックも重要な学びの機会になると考える。今後は、教員からのフィードバックだけでなく、学生同士のフィードバックの仕組みを構築し、学びの深化を進めたい。

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：経営学部 名前：三宅 麻未 作成日：2025年11月18日

【添付資料】

働くことを考えるⅠ、フィールドスタディⅡ、ロジカルシンキング、キャリアモデル事例研究 シラバス